

## 阿蘇山

### 火山活動度レベル

火山活動度レベルは、2 (やや活発な火山活動) でした。

### 概 況

中岳第一火口では、湯だまり内に小規模な土砂噴出が継続して観測され、高さは中央部と南側及び西側では約 5 m で、その他の場所では 2 ~ 3 m でした。湯だまりの量は、期間をとおして約 3 割で経過しました。

孤立型微動は先月に比べてやや増加し、1 日当たり 42 ~ 178 回で推移しました。火山性連続微動は、5 月 13 日以降継続し、振幅に大きな変化はありません。

### 噴煙活動の状況

噴煙は白色・少量で、噴煙高度の最高は 800m (7 月 : 700m) で特に異常は認められませんでした(図 1、図 2)。

### 地震・微動活動の状況

火山性連続微動は、5 月 13 日 04 時 55 分以降継続し、振幅に大きな変化はありません(図 3)。孤立型微動の日回数は 42 ~ 178 回で推移し、月合計は 2,675 回 (7 月 : 2,490 回) でした(図 1、図 2)。A 型地震の月合計は 32 回 (7 月 : 8 回) とやや増加しました。B 型地震の月合計は 206 回 (7 月 : 89 回) と増加しました。(図 1、図 2)。

### 火口や噴気地帯の状況

中岳第一火口の湯だまりの量は、6 月 17 日から引き続き約 3 割で経過しています。湯だまりの色は灰色で変化はありません。また、小規模な土砂噴出も継続して観測され、高さは中央部と南側及び西側では約 5 m で、その他の場所では 2 ~ 3 m でした。

6 日に上空から撮影した写真では、第一火口以外の火口及び火口周辺の異常は認められません。(陸上自衛隊第 8 師団第 8 飛行隊の協力による)

湯だまりの表面温度は 74 ~ 82 (最高 26 日 82 ) で、南側火口壁下の温度も 278 ~ 319 (最高 3 日 319 ) と高い状態が続いており、前月 (302 ~ 322 ) と比較するとやや低くなっていますが、大きな変化はありません(図 1、図 2)。

(温度測定は、赤外放射温度計による)

### 地殻変動の状況

GPS による地殻変動観測では、草千里 - 砂千里浜、草千里 - 仙酔峡、砂千里浜 - 仙酔峡の各観測点間の基線長には、火山活動に起因する変化はありませんでした(図 4)。

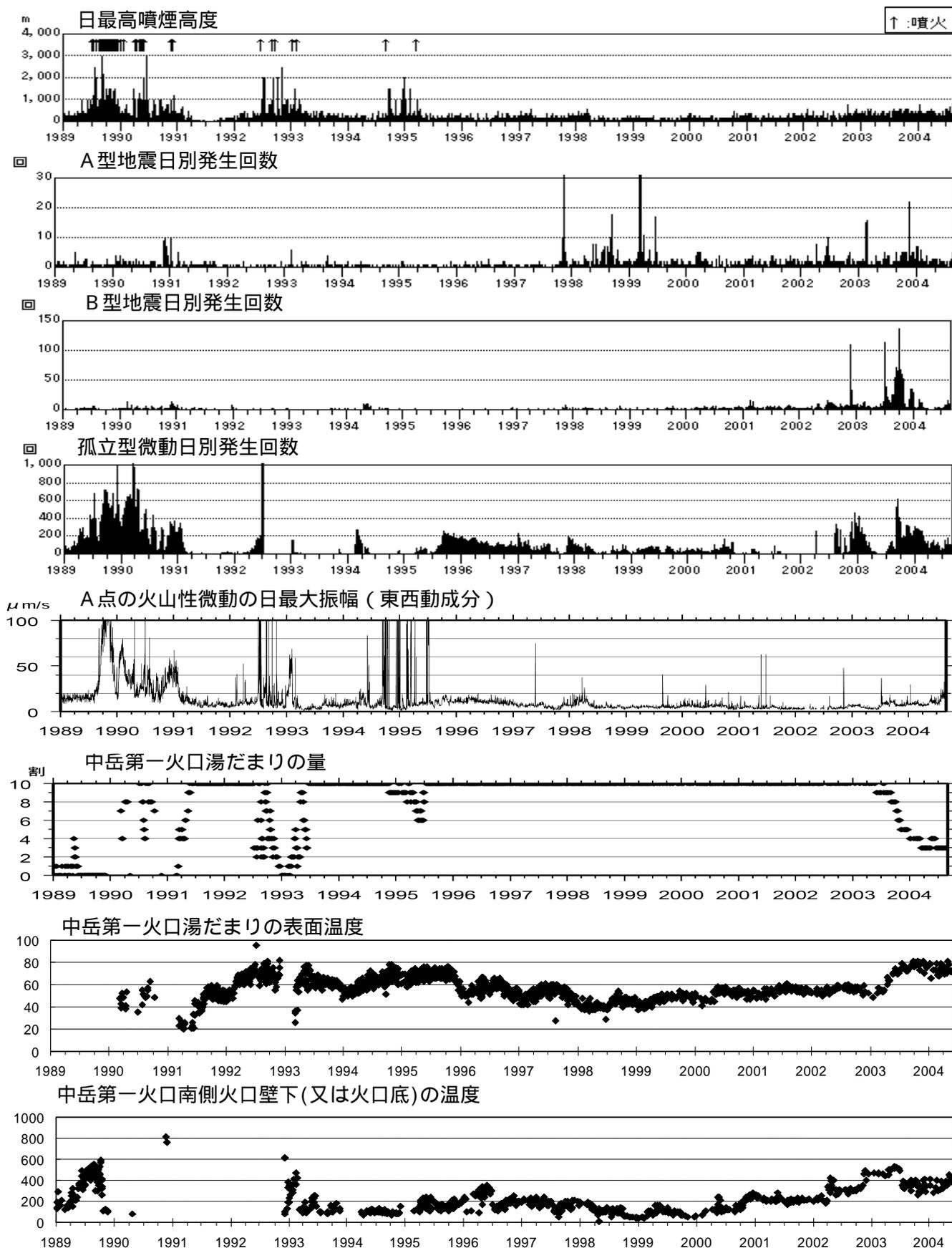


図1 火山活動経過図(1989年1月1日~2004年8月31日)

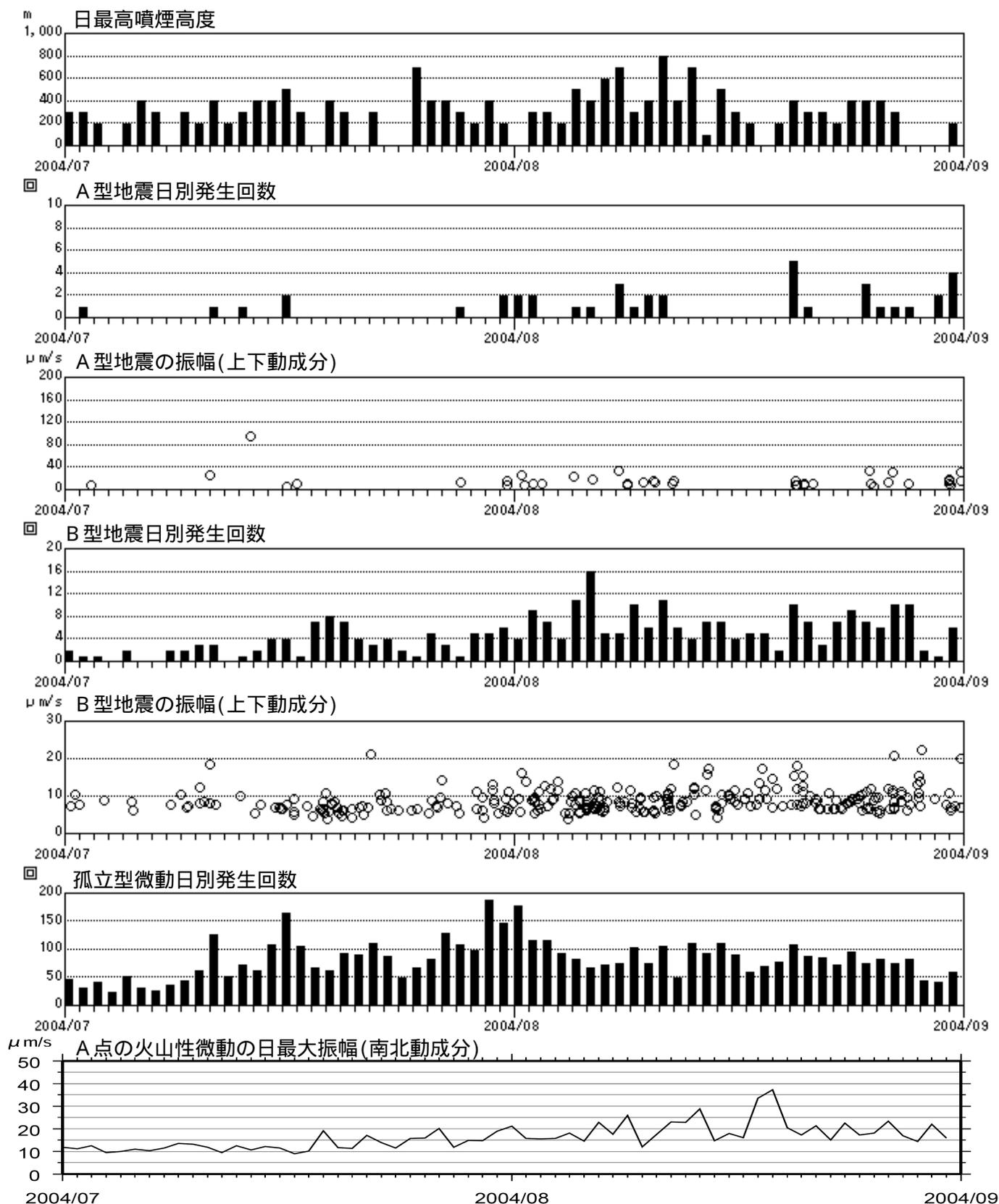


図2 火山活動経過図(2004年7月1日~2004年8月31日)  
 (雷災により欠測 2004年7月23日、24日、28~29日、8月14日)

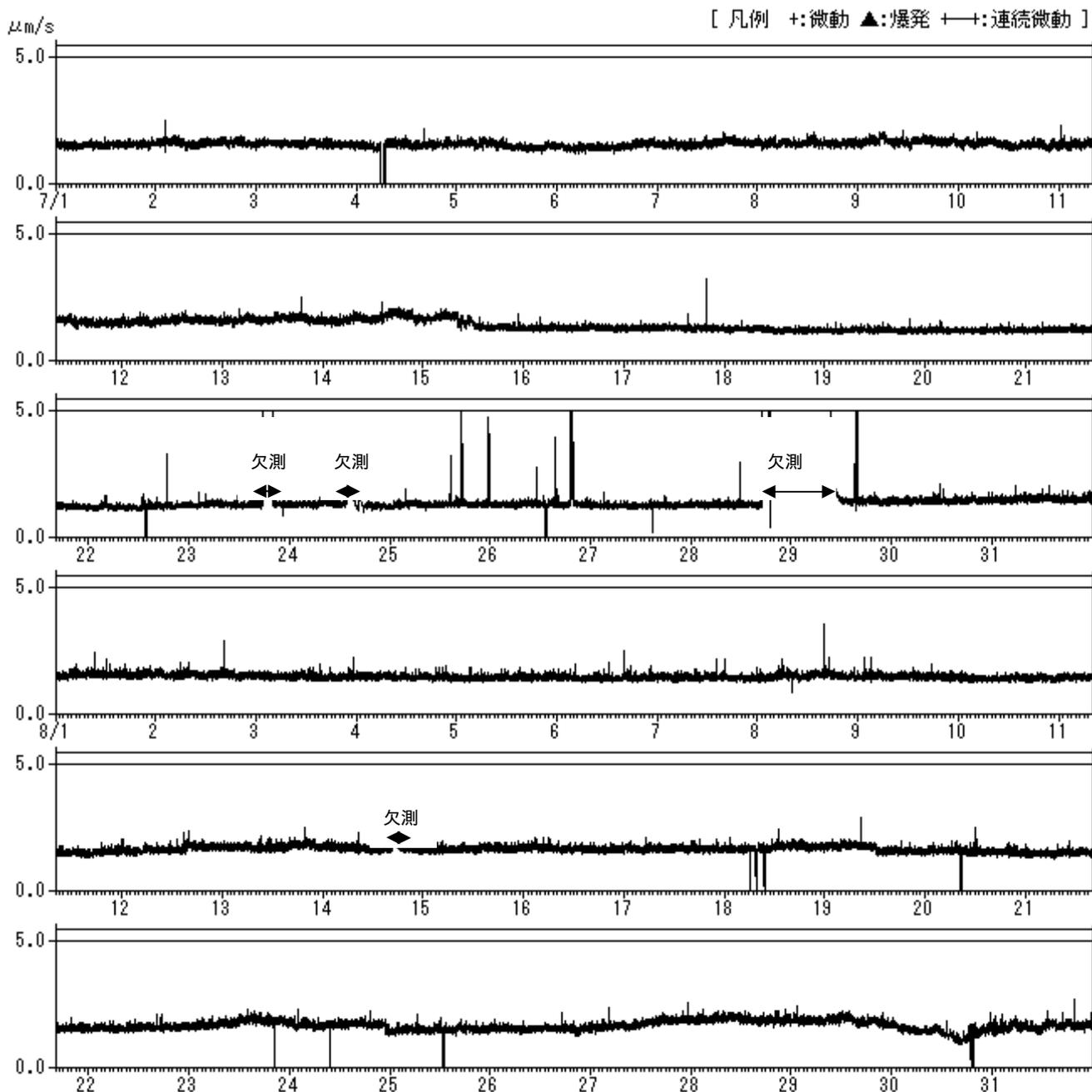


図3 1分間平均振幅の時間変化(A点南北動成分)(2004年7月1日~8月31日)  
 (雷災により欠測2004年7月23日、24日、28~29日、8月14日)

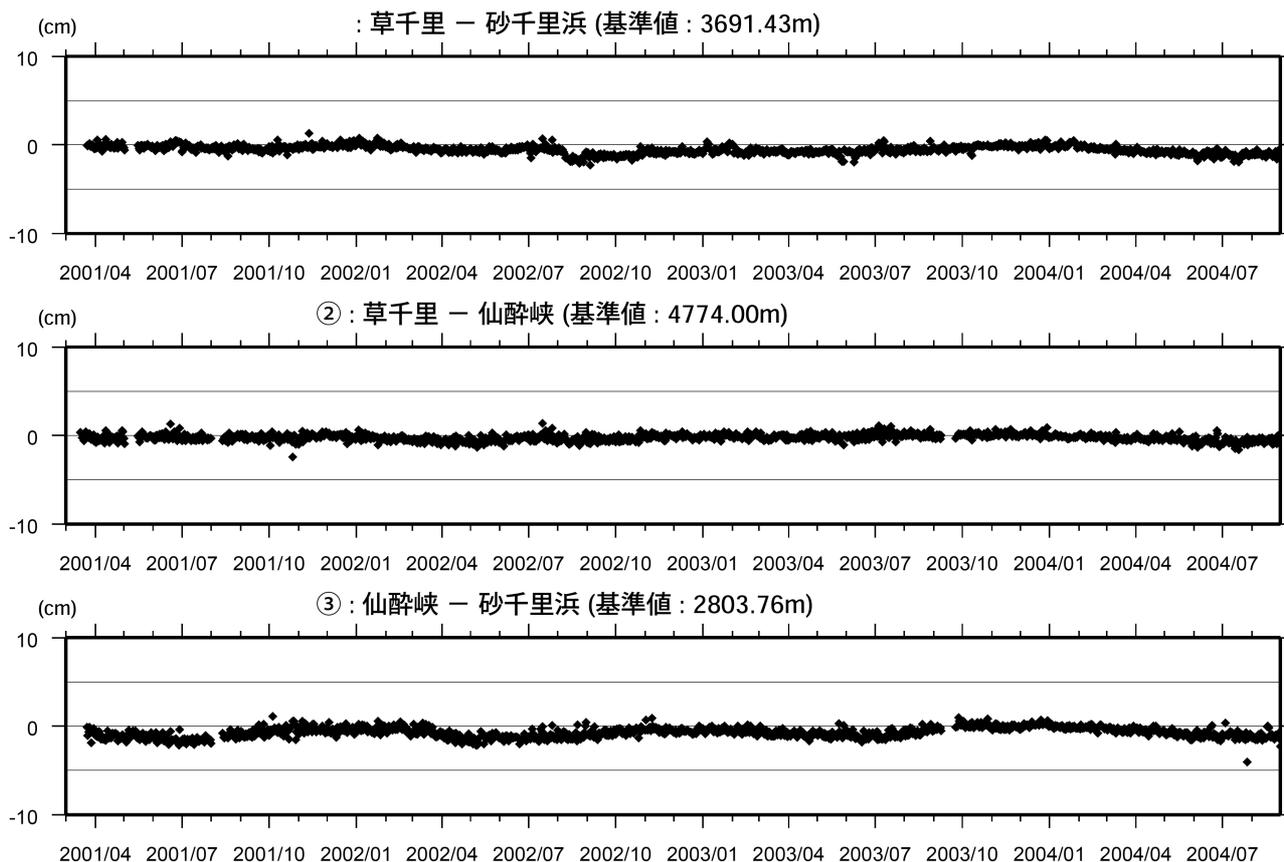


図 4 GPS 観測による基線長変化(2001 年 3 月 15 日 ~ 2004 年 8 月 31 日)

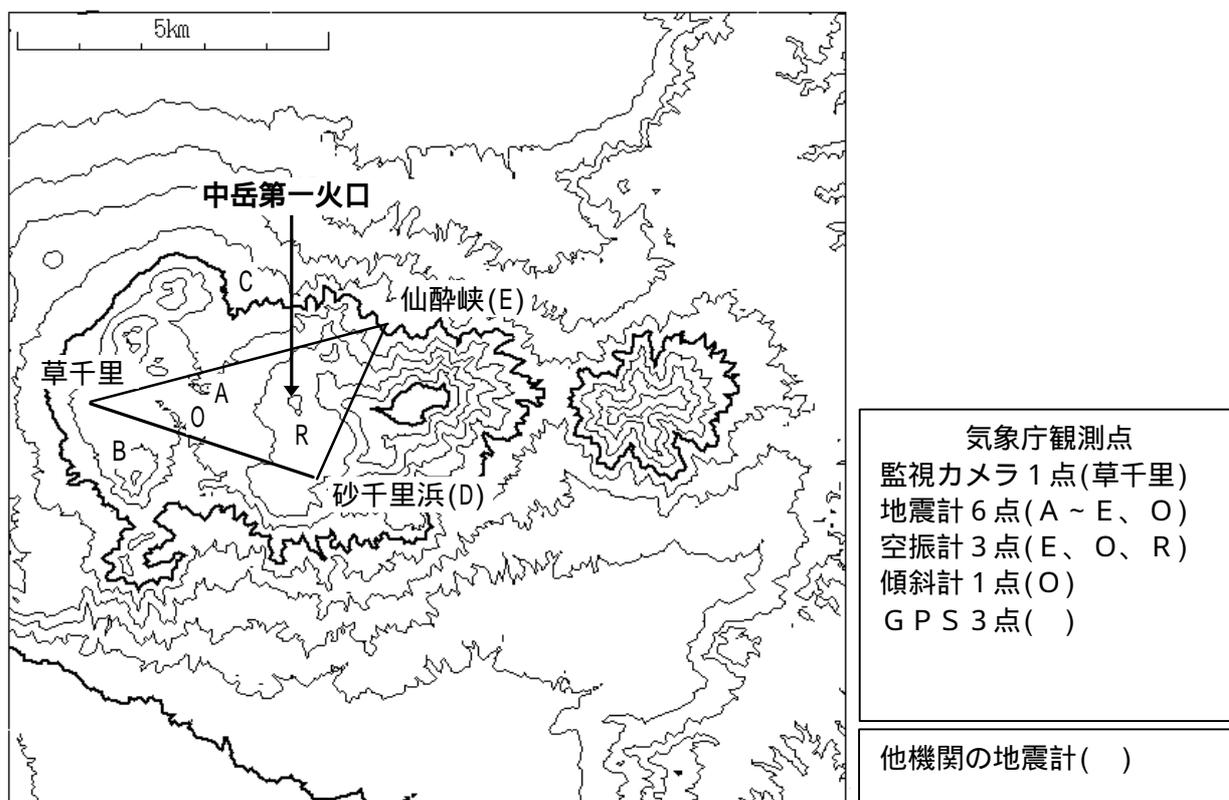


図 5 観測点位置図

阿蘇山